

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 乳幼児の食物蛋白誘発胃腸炎に対する多機関後方視的症例集積研究</p> <p>●研究の対象 共同研究機関（浜松医科大学、浜松医療センター、磐田市立病院、中東遠総合医療センター、藤枝市立総合病院、聖隷沼津病院、静岡済生会総合病院）の小児科において、2019/6月～2023/12月に食物蛋白誘発胃腸炎疑いで診療された乳幼児（6歳未満）</p> <p>●研究の目的 食物蛋白誘発胃腸炎は、即時型食物アレルギーとは異なり、原因や診断方法、予後が分かっていません。そこで、多機関共同後方視的症例集積研究を行うことで、食物蛋白誘発胃腸炎の患者さんの特徴、食物経口負荷試験の有用性、判断方法について検討したいと考えています。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年3月まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（USB）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、提供元の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する情報 カルテ番号 情報：病歴、既往歴、家族アレルギー疾患歴、負荷試験歴、血液・皮膚検査結果等</p>
<p>《利用する者》</p>	<p>●機関名および責任者名</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲≫</p>	<p>研究機関：浜松医科大学 小児科 夏目統 共同研究機関：浜松医療センター 小児科 田口智英 磐田市立総合病院 小児科 遠藤彰 中東遠総合医療センター小児科 早野聡 藤枝市立総合病院 小児科 櫻井史紀 静岡済生会総合病院 小児科 高柳文貴 聖隷沼津病院 小児科 幸田昌樹</p>
<p>≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)≫</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。</p>
<p>≪資料の入手または閲覧≫</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にご希望をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>≪情報の開示≫</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>≪問い合わせ先≫</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

部署名： 小児科

担当者： 夏目統

TEL： 053-435-2312

E-mail： allergy@hama-med.ac.jp